

令和元年度広島県教育賞及び広島県教育奨励賞の 受賞者の決定について

令和元年度広島県教育賞及び広島県教育奨励賞の受賞者を、本日
 (12月18日)の教育委員会会議で決定しました。

1 表彰の趣旨

学校教育，社会教育，体育・スポーツ，地域文化，教育行政のそれぞれの分野
 において，教育賞は功績が特に顕著なもの，教育奨励賞は成果等が他の模範とし
 て推奨できるものを県教育委員会が表彰し，県教育の振興・発展に資する。

2 受賞者（別紙のとおり）

広島県教育賞 個人 6名， 団体 1団体
 広島県教育奨励賞 個人 12名， 団体 6団体

3 その他

表彰式は1月31日（金）に県庁内で実施予定

(参考)

区 分	創 設 年 度	延べ受賞者数（今回表彰分を除く。）
広 島 県 教 育 賞	昭和44年度	個人459名，団体50団体
広 島 県 教 育 奨 励 賞	昭和59年度	個人577名，団体214団体

※年齢に関する要件（個人）

広 島 県 教 育 賞 55歳以上の者

広 島 県 教 育 奨 励 賞 55歳未満の者

令和元年度広島県教育賞受賞者

○個人

(年齢は令和元年12月18日現在)

区分	氏名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功績等
学校教育	しま づつ あつし 島 筒 篤 (60歳)	広島市立古市小学校 校長 (広島市)	校長として卓越したリーダーシップを発揮し、家庭や地域と連携した取組を推進するとともに、広島県公立学校校長会連合会会長、広島県連合小学校長会会長、広島市小学校長会副会長等、各種団体の要職を歴任し、幅広く小学校教育の充実・発展に寄与した。
	にし だ みつ や 西 田 光 也 (60歳)	三原市立宮浦中学校 校長 (三原市)	現任校では「学びの変革」パイロット校事業に係るパイロット校の校長として、先進的な実践を積み上げて着実に成果を上げた。また、東部管内中学校長会会長、広島県中学校長会副会長として、指導的役割を果たしながら中学校教育の充実・発展に寄与した。
	まつ い みとし 松 井 太 (60歳)	県立尾道北高等学校 校長 (尾道市)	前任校では平成26～29年度外国語(英語)教育強化地域拠点事業の研究校の校長として、小中高が連携した英語教育の研究にリーダーシップを発揮した。現任校では生徒の主体性を育てるため、家庭学習や学校行事においても自己決定場面を増やす改革に取り組んだ。また、広島県公立高等学校長協会副会長として、高等学校教育の充実に尽力した。
地域文化	お づ たかし 小 都 隆 (73歳)	元広島県文化財保護審議会 会長 (広島市)	広島県文化財保護審議会委員、同会長として長年にわたり県内の文化財調査及び保存管理に関わり、「吉川氏城館跡出土品」(平成25年指定)等の指定に尽力した。 広島県の考古学や埋蔵文化財の情報共有を目的として昭和47年に「芸備友の会」を結成し、その翌年から現在に至るまで研究会の開催や会報誌の発刊を行っている。
社会教育	ふく もと あや こ 福 本 アヤ子 (73歳)	広島県地域女性団体連絡協議会 副会長 (世羅町)	広島県地域女性団体連絡協議会の副会長として、卓越したリーダーシップで会を牽引し、男女共同参画・青少年の健全育成・交通安全・環境・健康づくりの推進など、地域に密着した諸問題に積極的に取り組み、協議会の発展に貢献した。また、毎年、世羅町小国地区の自主防災組織と協働して防災訓練を実施し、炊き出し訓練を主導するなど、参加者に料理を振る舞うことにより地域の防災対策と地域の交流に寄与した。
体育・スポーツ	まつ お こう じ 松 尾 耕 司 (55歳)	広島県ボクシング連盟 常任理事・事務局長 (広島市)	広島県ボクシング連盟常任理事・事務局長及び崇徳高等学校ボクシング部監督として、ボクシング競技の競技力向上及び普及・振興に貢献した。 平成2年度からは国民体育大会ボクシング競技の監督を務め、長年にわたり、国民体育大会上位入賞者を輩出するほか、崇徳高等学校ボクシング部監督として、選手育成に尽力し、指導した選手がインターハイ等の国内大会で上位入賞するなど高い指導力を発揮した。

令和元年度広島県教育賞受賞者

○団体

区分	団体名 (所在地)	功 績 等
社会教育	東広島熟年大学 学長 山内 吉治 (東広島市)	<p>高齢者の生涯学習の場として生きがいや社会参加への意識の向上を目的に東広島熟年大学を開講。開講して40年が経過した現在、年間22講座を開設、約650名が学んでおり、高齢者の生きがいの発見に寄与している。</p> <p>また、大学の卒業生は、学んだ知識や技術、個人の趣味や特技を活かして地域リーダーとして活躍していたり、在学生においてもボランティア活動等を通して、地域福祉などの活動も積極的に取り組むなど地域で活躍する人材の育成につなげており、これらの社会教育活動を通じて地域社会への発展充実に尽力している。</p>

個人6名1団体

令和元年度広島県教育奨励賞受賞者

○個人

(年齢は令和元年12月18日現在)

区分	氏名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功績等
学 校 教 育	おお 大 谷 哲 也 (38歳)	尾道市立日比崎小学校 教諭 (尾道市)	外国語教育に係る高い専門性を生かして、小学校外国語科の教科化に向けたカリキュラム開発やA・L・Tを活用した授業の研究、やり取りする力を高めるための効果的な新教材の活用等に取り組み、その成果を積極的に普及・還元し、県全体の教育活動の充実に貢献した。
	のぶ 信 田 育 実 (39歳)	三次市立甲奴小学校 教諭 (三次市)	外国語活動における「学ぶ必然性」と「課題発見・解決学習のサイクル」を持たせた単元構成の方法を、他教科との関連を図りながら整理し実践するなど、授業研究の成果・課題を整理しながら研究の成果を発信するとともに、中学校区小中一貫教育の推進に貢献した。
	まつ 松 田 綾 子 (47歳)	廿日市市立四季が丘小学校 教諭 (廿日市市)	「学びの变革」パイロット校事業のパイロット教員として、児童の主体的・対話的で深い学びを導く授業を数多く提案するとともに、児童一人一人の課題に対する支援の手立てを含めた授業やICT機器を活用した体育の授業等、授業改善に係る取組に尽力し、県全体の教育活動の充実に貢献した。
	いけ 池 田 恵 子 (44歳)	東広島市立志和中学校 教諭 (東広島市)	道徳教育に関する高い専門性と指導力を有し、主体性と自己有用感を育てる道徳教育や道徳科の授業づくりと評価、道徳科における主体的な学びと評価の工夫等について取組の成果を実践発表や研究授業により積極的に発信し、本県における道徳教育の発展に貢献した。
	のぶ 信 おか 岡 ゆかり (51歳)	福山市立城南中学校 養護教諭 (福山市)	中学校区で実施するアンケートやデータ分析により、保健室固有の環境を活用した健康相談を実践するとともに、生徒・保護者や地域へ健康教育の大切さを啓発しながら取組を推進し、う歯・歯周病治療勸奨等の歯科保健の取組において成果を上げるとともに、本県の保健指導の充実に貢献した。
	はこ 箱 田 淳 子 (34歳)	福山市立千年中学校 教諭 (福山市)	「学びの变革」パイロット校事業のパイロット教員として、関わり合いを通して思考力・判断力・表現力を育む授業づくりに取り組むとともに、数学と生活を結び付けた自作問題の作成や自らの多様な実践に基づく的確な指導・助言等により、本県の授業改善の推進に大きく貢献した。
	まつ 松 村 歌 織 (47歳)	北広島町立豊平中学校 栄養教諭 (北広島町)	地域の生産者や販売者と連携した地産地消の取組や教科等の関連を図った総合単元学習による食育指導を行うなど、組織的、計画的な食育の推進により、児童生徒、保護者及び地域に啓発を図るとともに食育推進のモデルを示し、その成果を広く発信して本県の食育の推進に大きく貢献した。

令和元年度広島県教育奨励賞受賞者

○個人

(年齢は令和元年 12 月 18 日現在)

区分	氏 名 (年齢)	所属及び職名 (所在地)	功 績 等
学校教育	おお びら り 恵 大 平 理 恵 (43 歳)	県立西条農業高等学校 教諭 (東広島市)	広島県科学セミナー等の協力教員として科学研究を志す高校生の探究活動を支援するとともに、所属校におけるスーパーサイエンスハイスクールとしての取組、特に農業と理科を融合し探究活動を重視した学校設定科目「アグリサイエンス」の教材開発、教授方法の工夫改善に尽力した。
	ま かね たか こ 真 鍋 孝 子 (54 歳)	県立海田高等学校 教諭 (海田町)	家政科「課題研究」の指導において、地元町役場や商工会と連携し、生徒のアイデアを生かした企画・商品化・販売を実現するとともに、現任校において全国高等学校家庭科技術検定 3 種目で 1 級を取得する生徒数が平成 28 年度から 3 年連続日本一となったことに貢献した。
	よし はら こう へい 吉 原 恒 平 (42 歳)	県立広島特別支援学校 教諭 (広島市)	広島県特別支援学校技能検定において審査、運営に携わるとともに、進路指導主事として、外部との連携を進め企業参観日や事業所説明会を実施することにより、生徒の進路指導の充実に尽力した。
教育行政	みや た こう し 宮 田 幸 治 (51 歳)	府中市教育委員会 主幹 (府中市)	コミュニティ・スクールの担当者として、6 年かけて府中市立全学校への導入に貢献した。 「2019 全国コミュニティ・スクール研究大会 in びんご府中」では、全体調整役として広島県内初の大会を成功裏に収め、新学習指導要領に示された「社会に開かれた教育課程」の実現について、学校と地域と行政の協働により、関連性を持たせ、前進させた。
体育・スポーツ	ほり こう だい 堀 晃 大 (36 歳)	広島県ソフトテニス連盟 常務理事 (広島市)	広島県ソフトテニス連盟常務理事及び N T T 西日本ソフトテニス部監督として、ソフトテニス競技の競技力向上及び普及・振興に貢献した。 平成 29 年度から国民体育大会ソフトテニス競技・成年男子の監督を務め、平成 29 年度から優勝と準優勝を続けるとともに、N T T 西日本ソフトテニス部監督として、熱心に選手を指導し、指導した選手が国内・国際大会で優勝するなど高い指導力を発揮した。

令和元年度広島県教育奨励賞受賞者

○団体

区分	団体名 (所在地)	功 績 等
学 校 教 育	海田町立海田南小学校 校長 重森 栄理 (海田町)	平成 29 年 4 月に町内で初めてとなる通級指導教室を開設し、翌年には、研究授業を公開した。また、町内各校への定期的な研修、夏季休業中の町内全教職員対象の実践報告会等を実施し、町内全小中学校通級指導教室開設の原動力となった。校内では「ユニバーサルデザインの授業づくり」の視点で実践を積み重ねている。海田町の「通級による指導」の充実に向けた取組の拠点校として先進的な役割を担っている。
	福山市立今津小学校 校長 橋本 秀基 (福山市)	これまでの通知表による評価等を見直し、学習の過程と結果が分かる個人のポートフォリオを作成した。また、学期末には、個人のポートフォリオによる児童面談、保護者面談を行っている。総合的な学習の時間では、児童が自ら選択したテーマに基づき、異年齢による縦割りグループを編成して探究活動を行い、異なる視点で課題を設定したり積極的に考えを交流したりしている。
	府中市立栗生小学校 校長 湯藤 由佳 (府中市)	平成 25 年度に文部科学省「『コミュニティ・スクールの推進への取組』に係る委託事業」の指定を受け、平成 27 年 4 月からコミュニティ・スクールとなった。地域課題に向き合い、地域への誇りとグローバルな感覚を持った社会に役立つ人づくりを目指す学校経営を行っている。学校運営協議会と協働して行った「地域防災教育」、全校読破 1 万冊を目指す読書推進活動等の取組により児童の達成感と自己肯定感が高まっている。
	福山市立鷹取中学校 校長 藤田 由美子 (福山市)	論理的思考を育成するために、ループリック評価、思考スキル・思考ツールの活用等を学習過程に位置付けた「鷹取中学校授業スタイル」を作成し、生徒が一人でも学びを深められるようにした。英語科において、教科書の内容を、リスニングや音読、リテリング等の活動ごとに 5 回以上繰り返して学習する方法を通して、生徒に自分の考えや気持ち、事実などを英語で表現する力の育成を図っている。
社 会 教 育	大学生ボランティアチーム 「ワクワク学び隊」 メイプルみつつ 代表者 糸原 沙和香 (東広島市)	東広島市放課後子供教室三ツ城わくわく広場を中心に県内各地で子供たちに豊かな体験活動を提供し、直近 3 年間の活動回数は、平均 100 回を超えている。チームの優れた取組や培ったノウハウについては、他の大学生ボランティアチーム「ワクワク学び隊」にも積極的に広めており、全体の活動への意識の向上に寄与するなど、県内の放課後子供教室の活動内容の充実に尽力している。
	府中町婦人会 会長 繁政 秀子 (府中町)	府中町を住みたい町にするために、地域の課題を踏まえた多岐にわたる活動を展開している。中でも、食育については、乳児から高齢者にわたるまでの幅広い年代への指導を行うとともに、県の朝ごはん推進モデル事業を受託し、府中小学校の児童に朝食サービスを提供するなど、地域に貢献した取組を行っている。 近年は専門部として、学校支援部を立ち上げるなど学校支援、青少年支援を重点に取組を進め、地域社会の発展充実に尽力している。

個人 12 名 6 団体